
市内のボランティアバンクについて

●人材バンク（生涯学習推進課）

- ・学んだことを他の人に伝えてもらうことが目的であり、社会教育系の個人を多く登録してもらっている。現在 45 人。
- ・平成 29、30 年度についての利用件数は 0。平成 31 年度は現在まで 5 件ほど問い合わせがあった。基本的に斡旋のみを行っている。
- ・市からの報酬等はなく、登録者が必要な経費を明示しており、利用者で協議の上で費用を担ってもらう。
- ・できるだけ簡素な取組にしたいと考えている。

●ボランティアセンター（社会福祉協議会）

- ・個人 45 人、団体 25 団体が登録。団体についてはホームページに掲示しているが、個人情報に関係もあり、個人の方は全く掲示していない。
- ・ボランティアしたい方にボランティアを紹介したり、ボランティアを求めているところのボランティアを探したりするつなぎは行っている。
- ・年間 24 件の活用があるが、偏りがある。
- ・費用弁償等を出していない。
- ・研修会を年 2 回行っている。研修のみの時もあれば、研修の後にお茶を飲みながら交流会をするときもある。テーマによって参加者の数はまちまちだが、災害ボランティアの方を呼んで行った前回の研修は参加者が多かった、とのこと。

●市民共働団体（コミュニティ推進課）

- ・ボランティア活動を行う団体について登録。現在 65 団体。
- ・個人の登録はなく、団体のみ。団体の種類については福祉や教育、環境など幅広く登録してある。
- ・つながり広場に団体の情報や活動の情報などを掲示して情報提供をおこなっている。
- ・平成 28～30 年度で 189 件の利用があり、団体への依頼を受けるほか、団体からの相談なども受け付けている。
- ・特に予算措置等はなし。
- ・研修会については、登録団体全体を対象としたものを年 2 回、体験講座を年 8 回行うほか、各団体への「ボランティアを「する側」の心構え」「ボランティアを「受け入れる側」の心構え」の個別講座を随時行っている。また、各団体への出前講座等を検討している。

●出前講座（コミュニティ推進課）

- ・古賀市の職員が各地域の公民館などに出向いて、講座や実習を行う。一部の講座で市民のボランティアにお願いしているメニューもある。
- ・市民のボランティアが関わっている講座が全 56 講座中 12 講座。平成 30 年度は全 170 回（4,890 人）の利用のうち、62 回（1,495 人）がボランティアが関わる講座であった。
- ・特に予算措置等はなし。

●学習支援アシスタント（学校教育課）

- ・市内の小・中学校が授業の補助として、ボランティアを活用する仕組み。一般的な学習のほか、総合的な授業や課外授業などで活用する場合もある。以前は「ゲストティーチャー」として活用されていたが、現在は「学習支援アシスタント」になっており、基本的に「授業の補助」という形なので、部活動などには活用できない。
- ・登録については、各学校が登録してほしい人に声をかけ、登録しているため、ボランティアの一覧から来てほしい人を選ぶ、という形ではない。
- ・平成 30 年度は全校で延べ 2,194 回の派遣が行われ、1 時間あたり 500 円が支払われた。

●女性人財リスト（コミュニティ推進課）

- ・古賀市が審議会などの委員の女性比率を 40%以上にすることを目標としており、参考になるようにリストを作成した。女性しか登録できない。現在 27 人。
- ・基本的に庁舎内の審議会などで採用してもらうことを目的としているので、一般に公開や呼びかけなどは行っていない。
- ・女性比率向上の呼びかけを庁内で行う際などに紹介しており、各課から問い合わせが来ている。